

道内のICT教育の目指す姿



ICTは「Information and Communication Technology」の略称で、「ICT教育」とは、コンピューターやインターネットなどの情報通信技術を活用した教育のことです。

これまでの実践とICT とのベストミックス

これまでの教育実践

×

ICT

=

主体的・対話的で深い学びの実現

一斉学習

授業中、先生はPCの画面を通して子どもたち一人一人の学習の様子を確認することで、その子その子に応じた、よりきめ細かな指導ができるようになります。

個別学習

子どもたちがいつ何を学習したのかななどの情報が、自動で記録されることで、一人一人の学びの状況に応じた学習ができるようになります。

協同学習

インターネットなどを使って情報を集め、一人一人が独自の視点で考えをまとめ、すぐに共有することで、いろいろな意見に触れ、考えを深めることができるようになります。

ICT機器を使うこと自体が学習の目的ではありません。



授業などでICT機器を効果的に使うことで、今まで以上によく理解できたり、様々な表現ができたり、深く考えたりするなど、学びの質を向上させることを目指しています。

子どもたちの健やかな学びの実現に向けて

道内の学校では、新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業による学習の遅れに対して、今年度中に行う学習内容を子どもたちに確実に指導できるよう、地域の実情を踏まえ、感染症対策を講じた上で学校教育ならではの学び合いを大切にした学習活動を行ったり、再度の臨時休業に備え、家庭学習の充実に向けてICTを活用したりするなど、子どもたちの健やかな学びの実現に向けた取組を進めています。



学習すべき内容の確実な指導

学習すべき内容を確実に指導できるようにするため、夏休みや冬休みなど長期休業期間の短縮や学校行事の見直しを行うなど、子どもたちの過度な負担とならないよう配慮しながら、必要となる授業時数を確保しています。

また、調理実習や合唱など感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動については、地域の感染状況を踏まえ、指導の時期や方法を変更するよう対応しています。

ICTの効果的な活用例

- ・小・中・特別支援学校において、道教委「家庭学習のすすめ」を参考に、学習の振り返りを行います。
- ・小・中・高・特別支援学校において、ビデオ会議アプリ等を活用して、学校と家庭間で双方向のやりとりによる学習を行います。
- ・高等学校において、道教委が作成した教材や解説動画(右)を活用した学習を行います。



～保護者の皆様へ～

「どさんこ学び応援サイト」には、小・中学生向けの「家庭学習のすすめ」や「ほっかいどうチャレンジテスト」などの学習資料を掲載しておりますので、お子様の家庭学習の充実に向け、ぜひ活用してください。

http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/gks/dosankomanabiouen_page.htm

(右のQRコードを読み取ってください。)

※高校生向けの教材や解説動画については、各学校に「Online学習サポートサイト」を紹介しています。

